

2020年度 決算のご説明

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年5月11日
 本多通信工業株式会社
 代表取締役社長 榎尾 欣司

Value by Connecting **HTK**

2

1-1. 通期業績

- 売上高は20/1Qを底に各分野回復/伸長、通期で対前年微増収
- 営業利益は一時的な減益要因、品種構成、調達/物流価格の高騰が足枷となり黒字に届かず
- 経常利益・純利益は助成金の活用・為替により黒字を確保
- 配当は予定通り7円を実施

単位:百万円、()内利益率

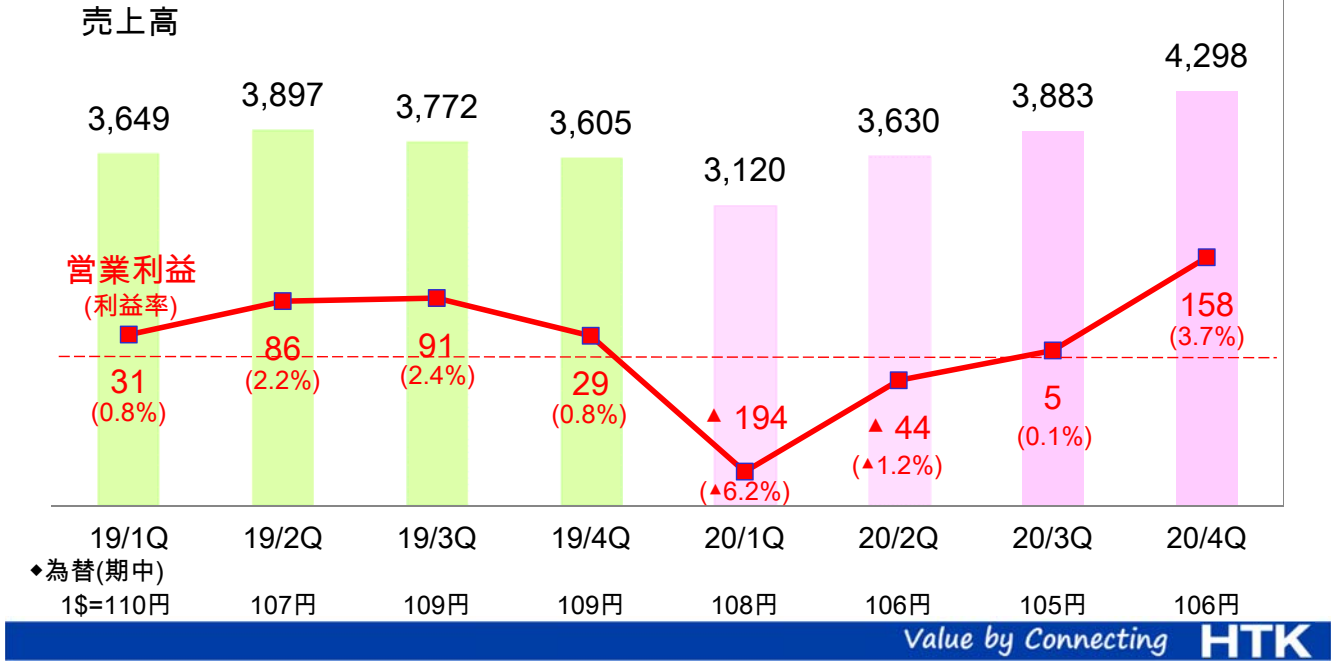
為替(\$/円) 期中平均/期末日	19年度 109円/109円	20年度 106円/111円	前年比	業績予想 (20/10/28)
売上高	14,923	14,932	100%	14,500
営業利益	237 (1.6%)	▲74 (▲0.5%)	-	0 (0.0%)
経常利益	157 (1.1%)	147 (1.0%)	94%	120 (0.8%)
純利益	43 (0.3%)	75 (0.5%)	174%	50 (0.3%)
配当	21円	7円		7円

Value by Connecting **HTK**

1-2. 四半期業績推移

20/1Qを底に右肩上がりに回復

単位:百万円

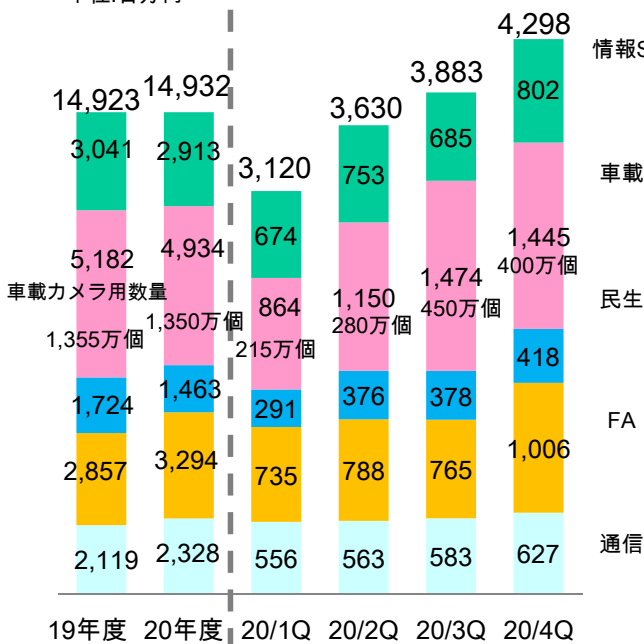


1-3. 分野別販売状況

通信・FA分野が対前年増販
 コロナ禍が影響した他分野も期末に向けて回復

※今回より『その他』分野を
 他分野へ振り分け集計

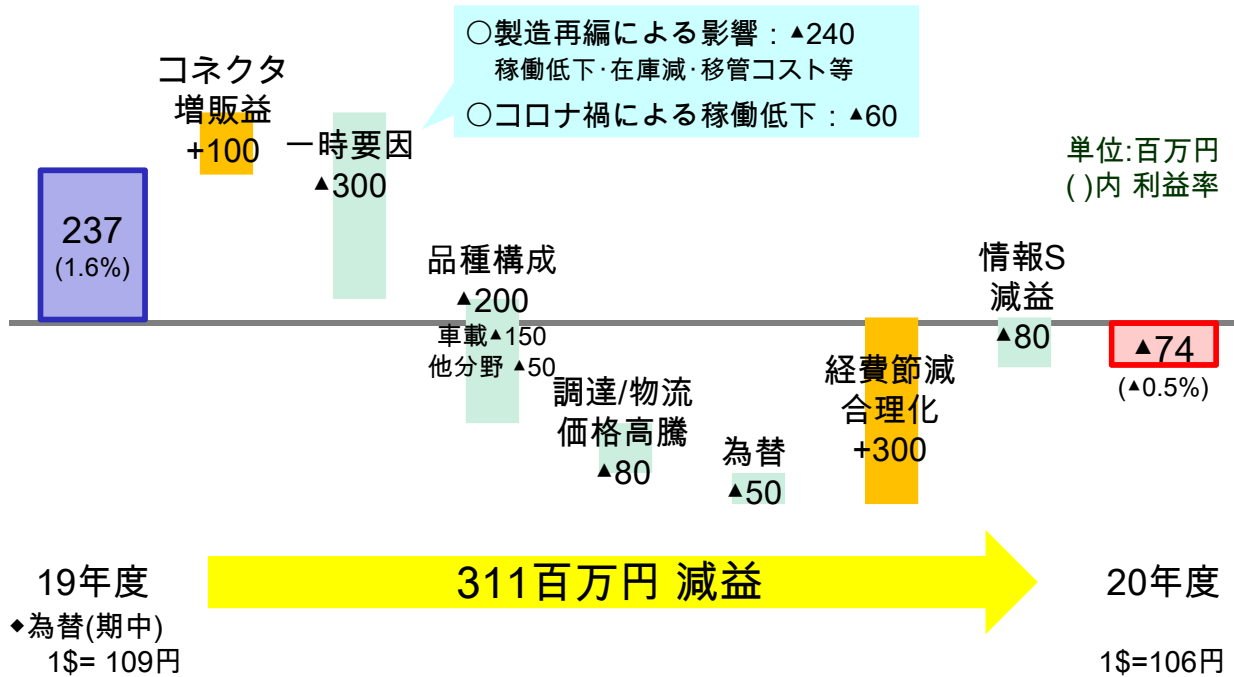
単位:百万円



- 情報S** コロナ禍により民間PJが遅延・停滞
徐々に影響は緩和、環境は改善傾向
- 車載** 1Qを底に車両の生産と同期して回復
4Qに半導体不足が一部影響
- 民生** 顧客の工場稼働停止やDSC・プロジェクト
向けの低調により減販
- FA** 半導体増産や自動車の生産回復等により
設備投資需要が活況
- 通信** 5GやFTTHの普及・拡大など通信インフラ
投資が好調

1-4. 20年度 営業利益分析(19年度比較)

一時的要因・品種構成・調達/物流価格の高騰により減益
経費節減で減益幅を縮小



Value by Connecting **HTK**

2-1. 21年度 業績予想

- 売上高はコロナ禍からの回復および事業環境の好転により、対前年10%増を見込む
- 営業利益は増販および前期の一時的要因の解消により黒字化
- 配当予想は8円(配当性向58%)とする

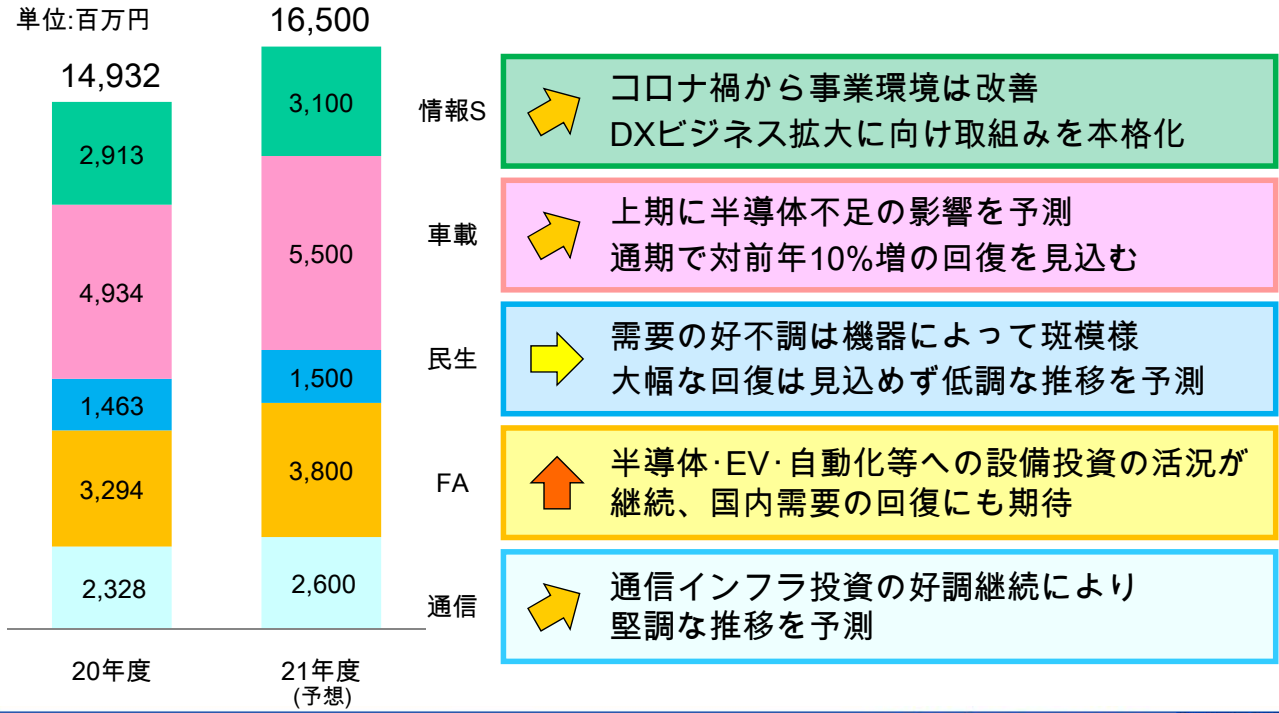
単位:百万円、()内利益率

為替(\$/円) 期中平均	20年度 106円	21年度 通期計画 107円	前年比
売上高	14,932	16,500	111%
営業利益	▲74 (▲0.5%)	500 (3.0%)	-
経常利益	147 (1.0%)	450 (2.7%)	306%
純利益	75 (0.5%)	320 (1.9%)	427%
配当	7円	8円	+ 1円

Value by Connecting **HTK**

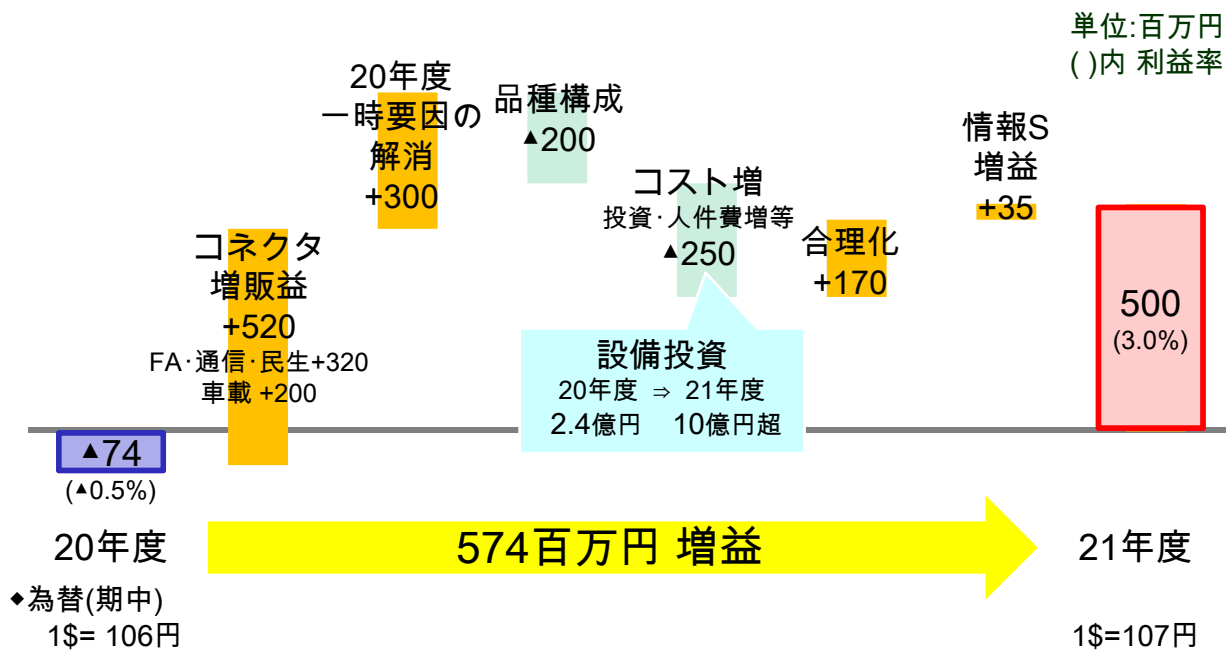
2-2. 21年度 分野別見通し

車載・情報S分野の回復、FA分野の伸長で増販見込み
部材不足(半導体・金属材等)の顧客・当社への影響が不透明



2-3. 21年度 営業利益分析(20年度比較)

増販および一時的要因解消で増益
コロナ禍により停滞した成長/合理化投資を積極的に実施



2-4.株主還元方針の変更 / 配当予想

還元方針に安定配当の内容を追加
21年度の配当は8円を予想

◆株主還元方針の変更

- 総還元性向30%を基本とする
- 中期での業績動向や財務状況等を総合的に勘案し、安定配当を実施する
- 業績見通しの変動などにより、配当性向が30%を大幅に下回ることが見込まれる場合には、自己株式取得を検討する

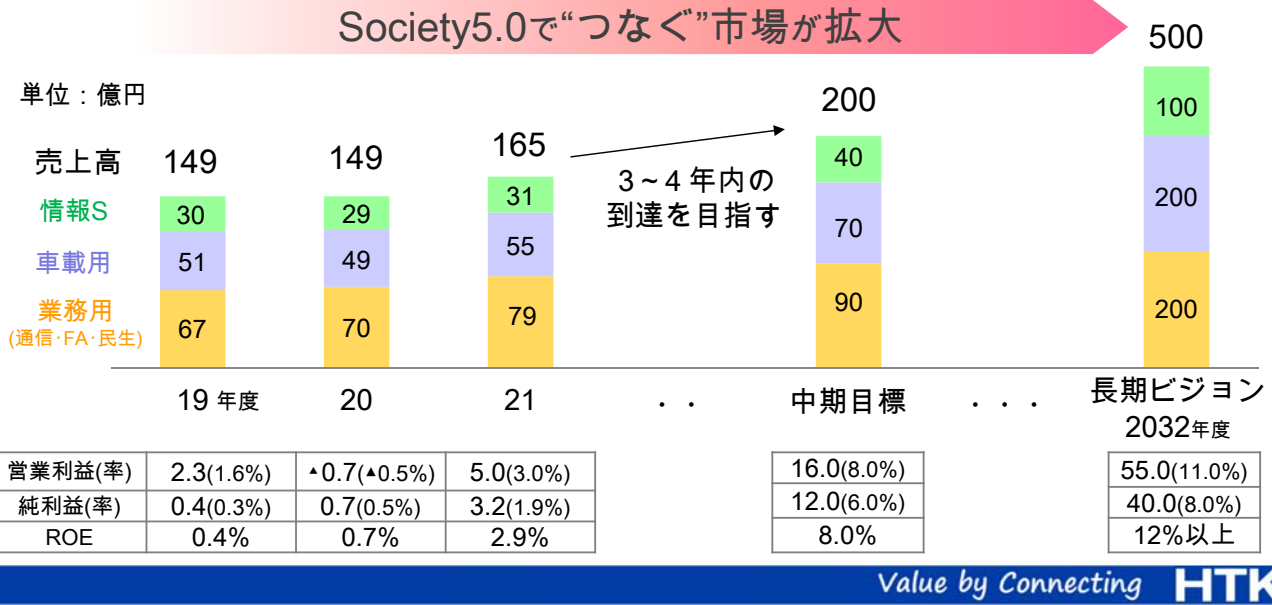
◆21年度 年間配当予想 (対象:22年3月末の株主様)

1株当たり 8円 (配当性向 58%)

経営計画

1. 経営計画

- 当社の状況および昨今の事業環境を踏まえ経営計画を見直し、『長期(創業100周年)ビジョン』『中期目標』を新たに設定
- 基本戦略
Society5.0で拡大する“つなぐ”市場に、新商品をスピーディに創出



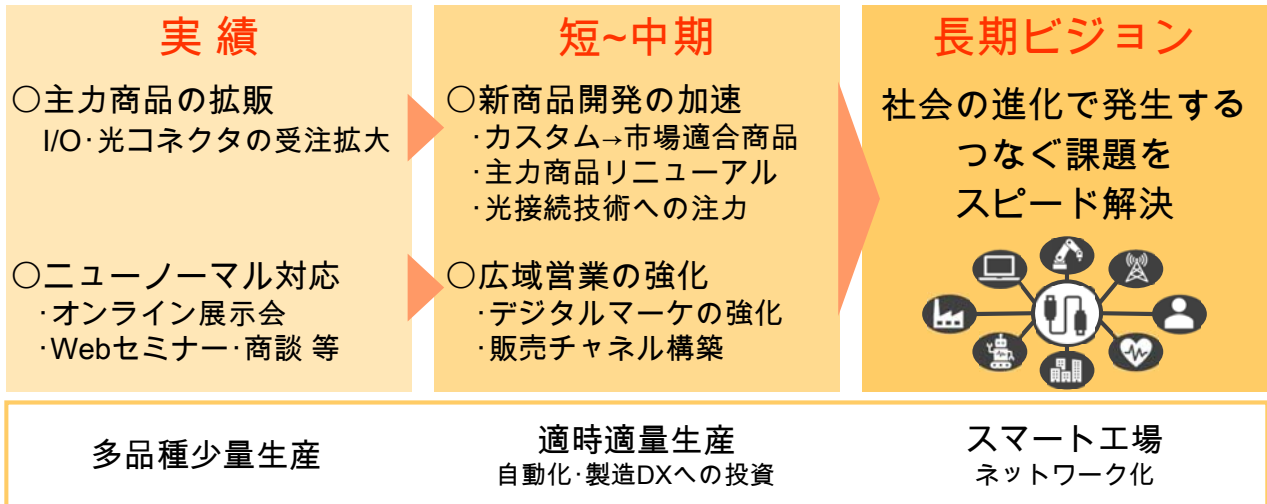
2-1. 業務用コネクタ

拡がり多様化するニーズに新商品の連打で対応

市場拡大 & ニーズの多様化

製造設備/通信インフラ投資
(半導体・EV・5G・光回線 等)

あらゆる機器がIoTで繋がる



20年度 70億円 → 21年度 79億円 → 中期目標 90億円 → 2032年度 200億円

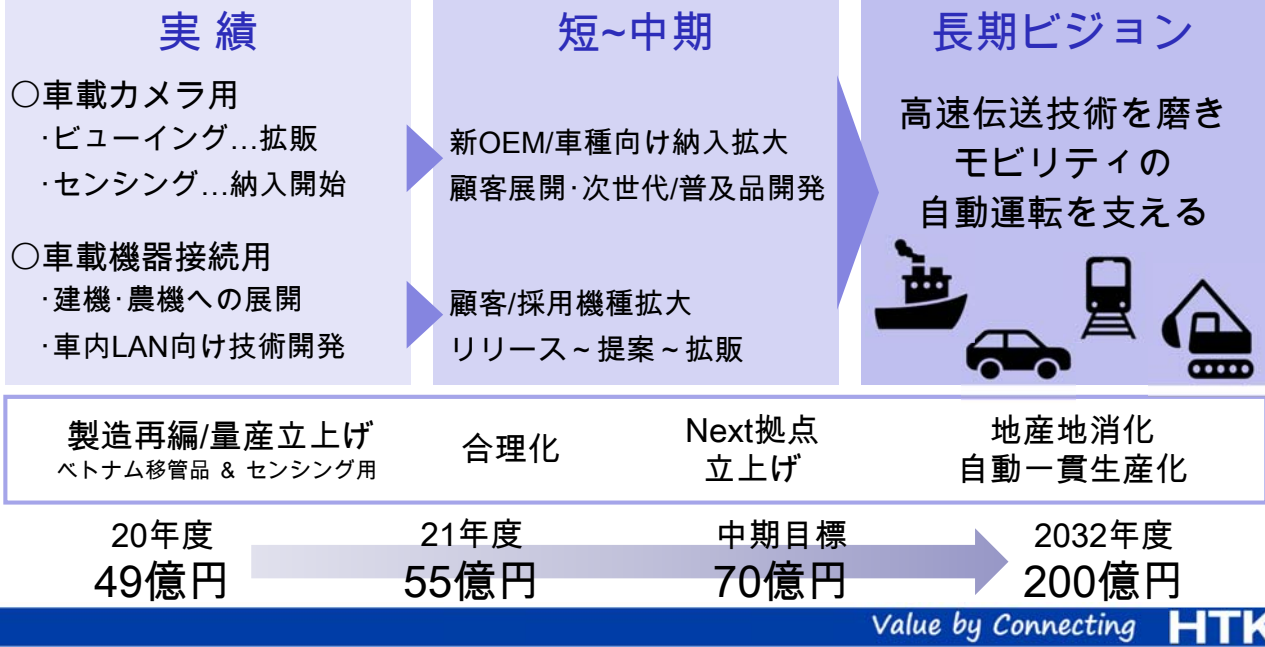
2-2.車載用コネクタ

車載カメラ用の実績と高速伝送技術をベースに事業拡大

CASEに向けてエレクトロニクス化が進展

車載コネクタ市場
予測：20年→25年:1.5倍

車載カメラ市場
20年→25年:2倍



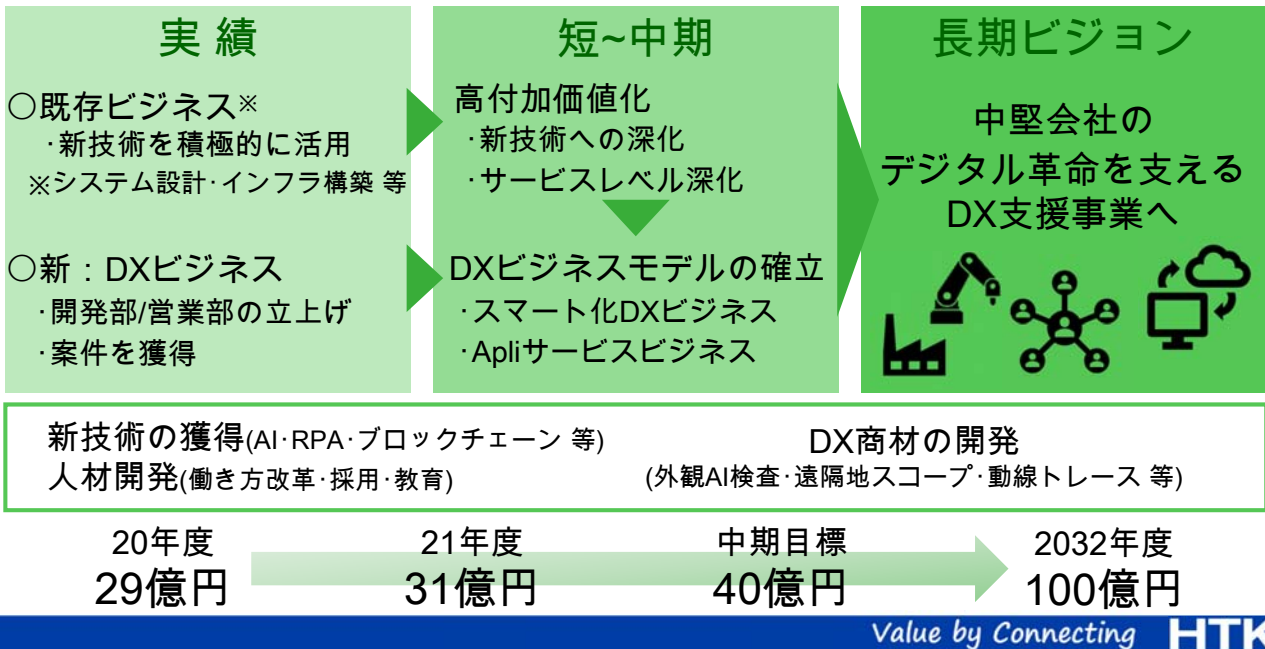
2-3.情報システム

新技術の活用で独自のDXビジネスを展開し、事業領域を拡大

デジタルの社会実装が加速

IoTビジネス市場
予測：20年→25年:1.5倍

クラウドサービス市場
20年→25年:2倍



3. デジタル・サステナビリティへの取り組み

積極的な取り組みで生産性・持続性を向上

製造DX

グループ内の連携を強化し、シナジーを創出

コネクタ事業

ものづくり力向上



情報システム事業

自社ビジネスへの展開

サステナビリティ

委員会を立上げ推進

気候変動リスク対応

カーボンニュートラル
に向けて取り組み強化

人材/組織力強化

健康経営
人材育成/組織開発

ガバナンス強化

改訂CGコードへの
対応

Value by Connecting HTK

トピックス 新任役員(21年6月～)

新任取締役



よねざわ ひとし
米澤 均 氏

■略歴

1983年 松下電工(株)(現パナソニック(株))入社
2006年 同社コネクタ事業部 商品企画開発部 部長
2017年 同社メカトロニクス事業部 生産技術センター 所長
2021年 パナソニック(株)を退職、当社 技術統括部長

松下電工入社以来、約35年間技術部門に従事。研究開発・商品企画設計・生産技術と幅広い部門に携わり、同社の工場長、センター長など要職を歴任。2021年からは当社の技術統括部長に就任。開発部門のトップとして、成長を牽引する商品の創出を期待。

新任社外監査役



ながさき まみ
長崎 真美 氏

■略歴

1998年 弁護士登録(第二東京弁護士会) 石井法律事務所入所
2004年 マーシャル・鈴木総合法律グループ
2005年 金融庁総務企画局総務課国際室
2009年 石井法律事務所 パートナー

弁護士としての多様な経験と法務全般に関する知識に加え、投資法人の業務全般の執行及び事業会社の社外取締役の経験も有しています。当社のガバナンスや法務面でのアドバイスを期待しています。

Value by Connecting HTK



IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社
経営企画グループ

MAIL : ir@htk-jp.com TEL : 03-6853-5820

URL : <https://www.htk-jp.com/>

HTK

Value by Connecting **HTK**

参考.コネクタ事業 連結受注推移

単位:%

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2020年度 前期比	-10	+11	+34	+13	+12
前年同期比	-18	-8	+27	+50	
1\$=	108円	106円	105円	106円	106円

2019年度 前期比	+4	-1	-3	-4	-14
前年同期比	-20	-16	-12	-5	
1\$=	110円	107円	109円	109円	109円

実勢為替レートで算出

Value by Connecting **HTK**